



学校だより

# ながや

令和5年 4月28日  
横浜市立永谷小学校  
校長 神田 敏之

「え？今年もあれをやるんですか？」

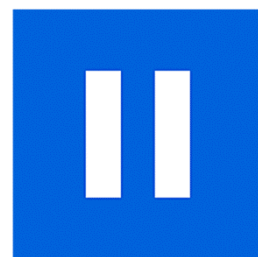
「もちろんやりますよ！永谷小に伝わる伝説のあのゲームを！」

校長 神田 敏之

1年生を迎える会での一場面です。伝説のゲームとは「ナガヤンじゃんけん大会」というものです。永谷小学校のイメージキャラクターの「ナガッシー」が説明をしてくれました。このやり取りを1年生は楽しく見ていました。また、他の学年の子どもたちも前で話している人たちの話を一生懸命聞いていました。大人でも子どもでも前に立つ人の話を聞ける姿というのは素晴らしいと思いました。まさに「自分のリーダー」を発揮している姿だと感じました。

朝会でリーダーには2種類あり、「みんなのリーダー」と「自分のリーダー」があるという話をしました。一般的に集団をリードするリーダーはみんなのリーダーに当たります。自分のリーダーは、誰もが持っていてそれぞれの個人の中にあり、自分で自分のことを動かすリーダーです。

これは本校の学校教育目標の「自ら考え」に当たるところです。自分で考え、判断し行動することを大切にしています。朝会では子どもたちに「一時停止ボタン」を押して、立ち止まって考えるように話をしました。ドッジボールを例にすると、ボールを受け取ったら相手を当てる、味方にパスをするなど次の行動を選ぶことができます。考えてよりよい行動を選ぶことが大切と話しました。その結果がどうであれそれは自分が選んだ結果で、自分に責任があるということを伝えなかったのです。



私たち大人は、経験があり先を見通すことができます。しかし子どもたちはその力をつけている途中です。子どもが何かしようとしているときに大人は「そうじゃない」「こうしなさい」と言ってしまいがちです。そうせずに「ちょっと考えてみよう」と言って、次の行動をいくつか考えさせることにより子どもに考える力をつけられると思っています。大人が指示したことに従わせるのではなく、子どもに考えさせたり選ばせたりすることを多く経験させることにより、自ら考える力が育ってくると考えています。